

きこう
寄稿

おおさかし きほんこうそう うご だ 大阪市のバリアフリー基本構想が動き出した！

ねんど ねんど おお とし
—2023年度～2024年度は大きなチャンス的一年—

がつ にち だい かいおおさかしこうつう きほんこうそうすいしんきょうぎかい ひら かいめ
6月21日、第5回大阪市交通バリアフリー基本構想推進協議会が開かれた。1回目は
さくねん がつ かい かいめ ひこうかい きほんこうそう ねん せいりつ こうつう
昨年9月だったが、2回から4回目までは非公開。基本構想は2000年に成立した交通バ
りャフリー法に基づき、駅を中心とした重点地区を設定し、その地区全体のバリアフ
りャ化を進める具体的な計画を関係する事業者や障害者、関係者が集まってつくりあ
げるもの。2003年～2006年にかけて大阪府は25地区での基本計画を作成し、障害者も
たすうさんか けんとうかいぎ ひら どうじ ぜんこく
多数参加して「まちあるき」、検討会議も開かれました。当時は全国トップクラスのスピ
ードと量でした。ただ本来、継続して見直すことが重要で少なくとも5年ごとの見直
しが必要なのですが、大阪府は2007年以降、動きが止まりました。国の法律では2006年
にハートビル法（建物など）と交通バリアフリー法を統合し、バリアフリー法となり、
きほんこうそう えき せいかつかんれんしせつ ちゅうしん ちくせつてい かのう きほんこうそう
基本構想も駅だけでなく、生活関連施設を中心にした地区設定も可能になり、基本構想
をつく しぜんたい きほんほうしん
を作ったうえで、市全体の基本方針であるマスタープランを作ることも推奨されました。
し うご
が、市は動かず。

でもついに昨年度、市が重い腰を上げました。これは2025年万博の動きも関係してい
ます。当初、万博協会（府、市が中心で構成）は障害者の意見をまったく聞かずにユ
ニバーサルデザインを作ろうとしましたが、さすがに国全体の流れにも逆行しているこ
とから、見直され、大急ぎで様々な障害者委員を入れて見直しをしました。3年前
おおさかし ばんぼく このはなくちょう たんどう かいとう まえむ
大阪府は「万博のバリアフリーは此花区長が担当する」と回答していましたが、前向き
しせい か
な姿勢に変わってきています。

●昨年からは大阪市レベルでの検討。次はいよいよ25地区ごとの見直しが始まる。

具体的な地区名とスケジュールはホームページでも見られますが、当初より2か月程度は遅れると思われます。6月の会議自体が1か月延期して開催されたのですが、6月21日の資料では各区の検討委員の選出が6月となっていました。7月下旬の時点でも各区の動きはまだないようです。ただ動きだせば早いかもしれません。

●各地区の見直しは、あつという間に始まって、あつという間に終わるかもしれない。

*25地区は、天王寺・阿倍野、新大阪、梅田、難波、京橋のターミナル地区とそれ以外の地区で検討の仕方が分かれます。ターミナル駅は市が直轄、あとは各区が主体となります。ターミナル駅では最初に行政側が出してくる計画(変更原案)があり、修正された原案2を検討する会議がありますが、ターミナル駅地区以外ではありません。一応、ワークショップが4回とされていますが、2回目は「まちあるき」、1回目と2回目が同日開催もありなので、実質の会議は3回目だけになるかもしれません。

*もともになるのは20年前の基本構想です。その間、特にターミナル地区は大きく変わっています。梅田ではヨドバシカメラはできたばかり、グランフロントなどは無し。阿倍野も今の歩道橋、キューズモールやハルカスはありません。そんな時代に作ったものを見直すこと自体に無理があるのですが、今回の見直しでは、最初に見直し原案が出されるようです。つまり、行政の動きを待って、出された変更原案を見てから考えて、対案を出す、では手遅れになりかねません。

●誰が見直し議論に参加できるのか。

*参加できるのは「各区における関連団体の代表」とあり、具体的にはこれから調整です。市レベルではかなり限定された障害者委員(既存の大きな団体)のみだったので車いす利用者などは入っていません(9月からは2名追加予定)

げんざい く しやうがいしやきかんそうだんしえん く しやうだいれんかめい
 * 現在、25区には障害者基幹相談支援センターがあり、24区のうち 12区は障大連加盟
 だんたい ひ く しやうがいしや じぎやうしや れんけい つく
 団体です。日ごろから区の障害者や事業者との連携を作っています。バリアフリーに
 かん と く おお けいけん いけん も
 関しては取り組まれていない区も多いのですが、バリアフリーについて経験、意見を持つ
 しやうがいしや ふか きかんそうだんしえん かんれんだんたい いいん はい
 障害者とのつながりは深いので、基幹相談支援センターが関連団体として、委員に入れ
 くたいてき けんとう すす おも
 れば具体的な検討も進むと思います。

●具体的な大阪市25地区の見直しスケジュールは？ 市の案が2か月ずれると想定して…

* ターミナル駅 (天王寺・阿倍野、新大阪)

メンバー選定 8月～ ⇒ワークショップ 10月～ ⇒まちあるき 11月～

* ターミナル駅 (梅田、難波、京橋)

メンバー選定 12月～ ⇒ワークショップ 来年2月～ ⇒まちあるき 来年4月～

* その他地区 (御幣島、我孫子町、大正、住之江公園)

メンバー選定 8月～ ⇒ワークショップ 10月～ ⇒まちあるき 11月～

* その他地区 (鶴橋、新今宮、放出)

メンバー選定 12月～ ⇒ワークショップ 来年2月～ ⇒まちあるき 来年4月～

* その他地区 (南森町～淀屋橋、日本橋～谷町9丁目、弁天町、コスモスクエア)

海老江、野田阪神、西九条、関目、喜連瓜破、駒川中野)

メンバー選定 来年8月～ ⇒ワークショップ 来年10月～ ⇒まちあるき 来年11月～

●私たち側での「まちあるき」をしよう！！

以下の日程でまちあるきを予定しています。

* 天王寺・阿倍野	☞	8月9日(水)、23日(水)
* 新大阪	☞	8月10日(水)、17日(水)
* 難波	☞	10月ごろ (9月20日交通部会で調整)
* 梅田	☞	11月ごろ (9月20日交通部会で調整)

●**交通バリアフリーアドバイザー講座**

さくねんど ねんととうじ きほんこうそうさくせい せんもんか はなし がくしゅう きょうばしえき
・昨年度は 2003年当時の基本構想作成にもかかわった専門家の話も学習し、京橋駅
しゅうへん おこな こんねんど がつ かいさいよてい じゆんびちゆう
周辺のまちあるきも行いました。今年度も10月ごろから開催予定で準備中です。

●**まちあるきのポイント&基本構想の見直しで訴えたいこと**

- せつけいせこう だんかい しょうがいしゃ いけん はんえい つか
・設計施工の段階で障害者の意見が反映されていれば、もっと使いやすくバリアフリー
ざんねん おも うめだ いま まち
になっているのに、と残念に思うことがたくさんあります。梅田では今でもどンドン街
おお か ジェイ-エーおおさかえき みなみがわ きたがわ い き かんたん
が大きく変わっていますが、JR大阪駅の南側と北側の行き来は簡単ではありません。
ちかがい めいろ ほどうきょう いぜん
地下街は迷路のようです。あべの歩道橋は以前よりはバリアフリーになりましたが、
ジェイ-エーがわ ほどうきょう とうざいなんぼく エレ-ター ぼしよ はじ
JR側のビル・ミオとはつながっていません。歩道橋の東西南北のEVの場所も初め
ひと わ ジェイ-エーてんのうじえき ちかてつたにまちせん
ての人には分かりにくい。JR天王寺駅から地下鉄谷町線へのバリアフリールートは
ひと おお ぼしよ にんの ちい
まずわからない。こんなに人が多い場所なのになぜ11人乗りの小さいエレベーター？
かしょ かだい ひと ちが たと
という箇所もたくさんあります。課題はたくさんあり、人によっても違いますが、例え
い か てん ちから い おも
ば以下のような点に力を入れたいと思います。
- えき の が あんないひょうじ わ とく たしやせんの が
・「(ターミナル駅では) 乗り換え案内表示が分かりやすいか、特に他社線乗り換えのバ
あんない の が わ おも ひょうじ かいぜん
リアフリー案内があるか。バスへの乗り換えが分かりやすい(主に表示サインの改善)」
てんじ ふせつ てきせつ ほどう だんさ てきせつ
「点字ブロックの敷設は適切か(ちゃんとつながっているか)」「歩道の段差は適切か
こ かしょ せっち あんない てきせつ
(2cmを超えている箇所はないか)」「バリアフリートイレの設置や案内は適切か(何
おとなよう ひょうじ あんない てきせつ なに
大人用ベッドがあるか、表示はあるか)」「エレベーターのサイズや案内は適切か(何
い エレ-ター ひょうじ しゅう かんこうち もくてきち あんない わ
行きのエVか表示があるか)」「主要な観光地、目的地への案内は分かりやすいか」など。
- とき な ひと めせん はじ ぼしよ き ひと わ
・まちあるきをする時には、慣れてる人の目線だけでなく、初めてその場所に来た人が分
じゅうよう エレ-ター ぼしよ わ
かりやすいかが重要です。EVの場所、バリアフリールートが分からないのは、その
ひと わる あんないひょうじ わ おな くるま りようしゃ
人が悪いのではなく、案内表示が分かりにくいからです。また同じ車いす利用者でも
でんどう しゅう ぜんりん おお で かだい ちが た しょうがい
電動、手動、前輪の大きさなどによって出てくる課題が違ってきます。他の障害でも

どうよう たよう しょうがいしゃ さんか たよう してん さんか
 同様です。多様な障害者の参加、多様な視点で参加しましょう。

●「なんばバリアフリートイレマップ」を作っています。

ねん いちどつく じかん た ふる せんにちまえ
 2016年に一度作っていますが、かなり時間が経ってデータも古くなったので、千日前
 しょうてんがい ようせい つく なお げんざいちょうさちゆう さいきん
 商店街などからの要請もあり、作り直します。現在調査中です。最近できたバリアフ
 リートイレなのに、「ドアが止まらず車いす単独では入れない」「鏡の高さが120セン
 ち以上で車いすから見えない」トイレがたくさんあることもわかりました。この辺りも
 いじょう くるま み な えいきょう けんじょうしやめ せん
 基本構想の見直しが長らく無かったことが影響しています。健全者目線のバリアフリ
 せつび ざんねん
 一設備になっています。残念！

エヌピーオー いしだよしのり
 (NPOちゅうぶ・石田義典)

図紙3 各地区構想 検討の進め方（ワークショップ実施の概要）

① 基本検討工程
 ワークショップは、基本構想の変更原案※1に対し、関係団体（関係者からの推薦団体を含む）の
 代表者から広く意見を聴くための場として開催。事後協議会上に、構想変更原案の意見聴取等を行
 いながら実施する。



ワークショップ（検討会議やまちあるき）をやる前
 から「変更原案」はもう作られている。
 役所の方で、何を見直すか（見直さないか）をみ
 んなの意見を聞く前に決めてる可能性あり！

※3「同日開催あり」とある。午前：会
 議⇒午後：まちあるき。1日だけであっ
 という間に終わってしまう可能性大！

ターミナル駅（梅田、難波、新大阪、京橋、天
 王寺阿倍野）以外は、2回目の変更（会議な
 ど）はない。つまり、まちあるきの後に意見を言
 う場はパブコメだけ！？

※1 構想変更原案の作成は、行政を主とする。関係者（区役所、財団関係者及び事業者）
 で随時行う連絡・協議の場である地区ワーキングで行う。
 ※2 ワークショップメンバーへの報酬無し
 ※3 地区の要望に応じて、現行開催することも可能（ワークショップのメンバーとなる関係者及び社
 会の意見も踏まえて決定）
 ※4 第4回ワークショップは、パブリックコメントの内容・実施により、必要に応じて開催
 ※5 事後協議会の開催形式としては、全て公開とする。

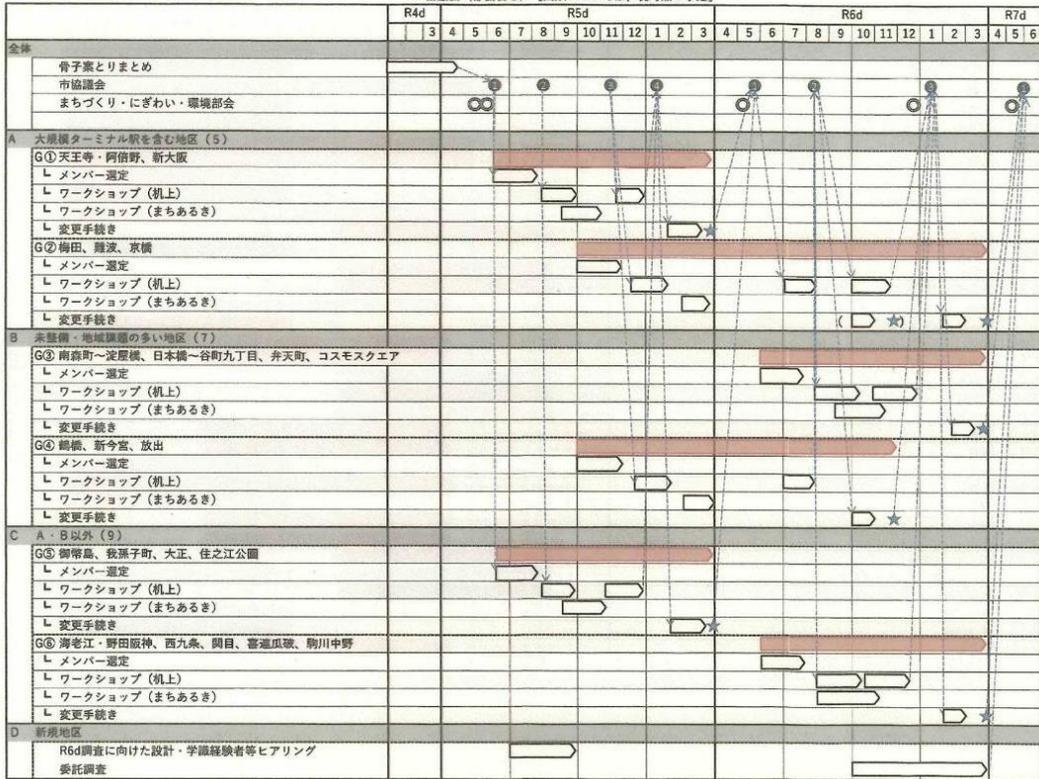
KSKすたこらさん

別紙4 各地区基本構想変更スケジュール（全体）（予定）

凡例

● まちづくり・にぎわい・環境部会

● 協議会（部会含む）【回数については、現時点の予定】



7

